
美しく、はかない

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

美しく、はかない

【Nコード】

N27260

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

私が『死』に敬愛の念を込めた『詩』

(前書き)

死とは、儚いもの、これを人はどう理解するのでしょうか。

私は、『死』を『師』と仰ぎ、これを『詩』にたしなめる。

『死』は万物に訪れる必然とした現象。それが天寿を全うしても
しなくても。

そんな『死』を私は『師』と仰ぐ。

何故ならば『死』は『生』と同じく万物の象徴であり、はかなく
尊いものだから。

しかし『師』は『死』を迎えてはくれない。

『死』の後に続くものが、必ずしも悲しみの連鎖では無いが、『
生』の後に悲しみの連鎖は生まれえないから。

だから私は『死』を『師』と仰ぎ、『詩』をたしなめる。

『師』に『死』の尊さを理解してもらう為に。

『師』に『死』のはかないなかの美しさを知ってもらう為に。

ここに『死』の『詩』をうたう。

『詩』は、波紋となって広がり、波となる。

その波が『師』に届くまで、私は『死』を『師』として『詩』をうたう。

それこそが、私が『死』を敬愛する【たった一つの手段】なのだから。

『師』は『死』を『詩』として理解してくれるだろうか。

(後書き)

私は一度『死』に限りなく近づきました。だからこそ、『死』をモチーフにした『詩』にしてみました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2726o/>

美しく、はかない

2010年10月12日03時56分発行